

プラスチック類ごみの正しい分別・排出にご協力ください

適正な分別でリサイクル推進!



中身が残っているのは ダメ!



二重袋は ダメ!



プラごみと不燃ごみを混合しては ダメ!



中身を取り除いて、指定収集袋に直接入れてください

正しい分別で資源化にご協力ください

危険な異物を混ぜないで!

プラスチック類ごみに混入していた異物



医療系廃棄物(注射器など)

刃物類



スプレー缶

充電式電池やモバイルバッテリー



コードなどのひも状のもの

機械に詰まったごみ

正しい出し方	注射器など	処方された病院・薬局にご返却ください
	刃物など	刃の周りを紙や布でくるんで、不燃ごみに「刃物あり」の表記を
	スプレー缶	中身を使い切って有害ごみへ
	充電式電池	モバイルバッテリーを含む電池類はすべて有害ごみへ
	コード類	電気を通すコードは小型家電金属類で
	長尺物	30cm(角)に切断してから分別を※可燃・不燃・プラの分別は素材などによって異なります

日野市では、プラスチック類ごみに混入する不適物は**作業員が手作業で選別**し、取り除いています。

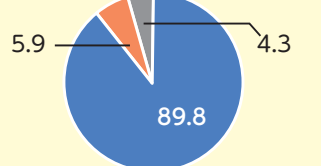
近年、在宅医療の普及により家庭から出される「在宅医療廃棄物」が増え、**注射針や針付き注射器がプラスチック類ごみに混入**しています。注射針などは作業員の**けがや感染症の恐れ**があります。これらの医療廃棄物は提供された医療機関などに返却し、プラスチック類ごみには絶対に入れないでください。

この他、刃物などの危険物は手選別の際に**けがの原因**となり、**充電式バッテリーやスプレー缶の混入は、ごみ収集車や施設内での火災・爆発事故などの原因**となり、ごみ収集の停滞や設備機器の復旧に**大変な費用がかかります**。

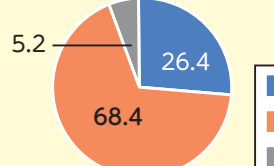
分別ルールを守ってお出してください。

異物の混入率

プラスチック類ごみの中身
(単位:%)



不燃ごみの中身
(単位:%)



グラフは、令和2年度のごみ袋の中身です。プラスチック類ごみは約90%が正しい中身ですが、不燃ごみは70%程度しか正しい中身ではないことが分かります。プラスチック類ごみも不燃ごみも100%正しい中身で出していただくことで、地球環境を守ることやごみ処理にかかるお金を少なくすることにつながります。

日野市と同様のプラスチック類ごみ分別方法が 全国の基本に!



環境省が地球温暖化や海ごみの問題などへの対策として、「プラスチック資源循環戦略」を策定するなど、プラスチック類ごみのリサイクルは全国的にも、また世界的にも重要な課題となっています。

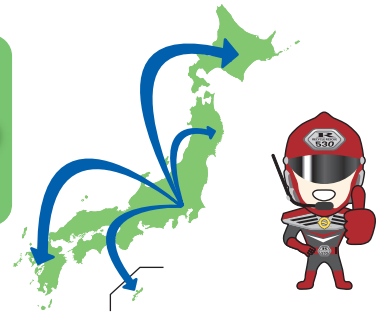
日野市では、市民・事業者・行政の協働で策定した第3次ごみゼロプランで、「**プラスチック類ごみのリサイクルをよりいっそう推進**することを目的に、**プラスチック製容器包装と製品プラスチックの両方を収集**する」という方針を定めました。

このプラスチック類ごみ分別収集方法が、国の有識者会議で**先進市の取り組み**として取り上げられ、「プラスチック製容器包装・製品プラスチックごみについては、プラスチック資源として分別回収することが求められ、**市民にわかりやすい分別方法とすることにより、プラスチック類ごみへの排出量を増やし**、プラスチック製容器包装・製品プラスチック類ごみをまとめてリサイクルすることが可能となる環境を整備。また分別努力に応じた市町村へのインセンティブ等を通じて、分別収集体制を全国的に整備していく」ことなどが、「今後のプラスチック資源循環施策の基本的方向性」として示されました。

※下線部は7月21日会議配布資料「今後のプラスチック資源循環施策の基本的方向性(案)」参考

全国のお手本となるよう
プラスチック類ごみの正しい分別・排出へ
のご協力をお願いします

それが、地球環境の保全につながります。



日野市では、約86%の方にレジ袋を辞退していただきました!

ご協力ありがとうございます

【7月からのレジ袋有料化の効果】 市内スーパーなどでのレジ袋辞退率

配布状況	有料化前		有料化後		辞退向上率
	店舗数(件)	平均辞退率(%)	平均辞退率(%)	(全店で有料化)	
有料	8	86.4	88.6		2.3
値引き	3	61.9	81.3		19.4
ポイント	5	38.6	82.4		43.8
無料	5	10.6	86.5		76.0
全体	21	53.4	85.6		32.2

レジ袋を辞退する方は、増えたけど・・・

代わりにホームセンターなどでビニール袋を買ったのでは、ごみ減量になりません!

例えば、生ごみは食パンなどの袋に入れて出すなど、ビニール袋は買わないで、元々ごみとして出すものを代替利用することで、ごみ減量につながります。

みんなで減らそう レジ袋チャレンジ

『レジ袋チャレンジ・サポーター』に登録しました!

レジ袋無料配布中止に向けた
(市民・事業者・行政) 共同会議

「レジ袋無料配布中止に向けた共同会議」は、環境省の「みんなで減らそう レジ袋チャレンジ」キャンペーンの『レジ袋チャレンジ・サポーター』に登録し、**マイバッグ運動を推進**しています。

今後もレジ袋の
さらなる削減のため

マイバッグ持参へのご協力をお願いします

【レジ袋無料配布中止に向けた共同会議とは】

市民・事業者・行政のメンバーで構成され、平成20年度から、「レジ袋の無料配布中止」や「マイバッグ運動」を推進しています。

